

令和6年度 事業計画

公益財団法人滋賀県文化財保護協会

I 協会運営

令和元年度に策定された「滋賀県文化財保存活用大綱」も意識して策定した『第6次中期計画』では、進むべき方向性を「文化財を通じた豊かな滋賀づくりへの貢献」とし、その実現のために以下の3つの大きな方針を定めています。

方針1：時代の変化に即した組織面の強靱化を進めます

方針2：経営の安定化に必要な財源確保と事業展開を進めます

方針3：情報発信による事業効果の社会への還元を進めます

1. 役員会議等

決算監査	1回開催予定
理事会	4回開催予定
評議員会	1回開催予定

2. 職員構成

協会事務局および各事業所所属職員の構成

	協会事務局	埋文センター	安土城考古博物館	琵琶湖文化館	計
人員	32	2	9	1	44

3. 管理運営

- (1) 平成24年4月1日付で滋賀県より公益財団法人として認定され、13年目を迎えます。また、『第六次中期計画』に基づく令和6年度の事業方針・事業計画の進捗を管理し、評価と改善策を検討します。
- (2) 滋賀県立安土城考古博物館は、第4期指定管理期間の4年目にあたります。展示リニューアル(令和6年度工事、令和7年度リニューアルオープン)に向けて県との連携をはかり、さらに魅力ある博物館となるよう努めます。
- (3) 滋賀県立琵琶湖文化館、滋賀県埋蔵文化財センターの施設管理を適切に行います。

4. 主な取り組み内容

令和6年度は以下の取組1～4を設定し、《文化財を通じた豊かな滋賀づくりへの貢

献》の実現に向けて取り組みます。

II. 取組の内容

取組 1. 時代の変化に即した組織面の強靱化を進める

(1) 時代の変化に対する意識改革

《継続》【中期方針 1 : 1 A】

- ① 外部機関との情報交換と情報入手を積極的に行い、公益法人を取り巻く状況の把握に努める

(2) 業務の合理化と経営戦略の整理

【中期方針 1 : 1 B】

- ① 業務内容のマニュアル化と既存のマニュアルの整備により、業務の標準化と合理化をはかる
《継続》
- ② 事務的業務の省力化と合理化のため、デジタル化を検討し、必要に応じて推進する
《継続》
- ③ 発掘調査現場におけるインターネット環境の導入
《新規》
- ④ 公益法人に関する基礎的知識の習得に努める
《継続》

(3) 組織と職員の持ち味や強みの反映

- ① 職員からの聴き取り調査等により、組織と職員一人一人の持ち味・強みの把握に努め、組織運営に生かす
《継続》【中期方針 1 : 1 D】

(4) 堅実な後進育成と的確な世代交代

【中期方針 1 : 1 A・1 D】

- ① 連携を支える内部の人材育成
《継続》
- ② ベテラン職員の技術・経験・知識の活用と継承
《継続》
- ③ 連携を支える外部の人材育成
・歴史遺産ガイド育成講座の企画・開催
《継続》

(5) 発掘・整理調査のエキスパート集団としての体制の整備と強化

【中期方針 1 : 1 E】

- ① 発掘調査約 11 件（調査面積約 57,000 m²）、整理調査約 11 件（報告書刊行 4 件）が候補に挙がっており、原因者および県文化財保護課との調整の上、受託する
《継続》
 - ・国（国土交通省）が進める事業への対応
出庭・手原遺跡、上砥山遺跡、佐和山城跡、惣山・京ヶ山遺跡の整理調査
 - ・県（土木交通部・農政水産部）が進める事業への対応
太田遺跡ほか、御館前遺跡、六地藏遺跡（県道）、六地藏遺跡、上御殿遺跡（ほ場）、阿弥陀寺遺跡（砂防）等の発掘調査を実施し、整理調査についても対応
 - ・市町事業への積極的な対応
横江遺跡、笠原南遺跡（守山市）の受託（整理も含む）
その他、突発的な要望については県文化財保護課と調整
- ② 調査精度の維持と迅速で効率的な現場運営のための体制整備に努める
 - ・昨年度に引続きデジタル測量技術の導入による調査精度の向上、省力化を検討

- ・デジタル測量技術の導入による積算根拠の見直しを検討 《新規》
- ③ 調査に必要な基礎的な技能向上を図るための研修 《継続》
- ④ 発掘調査事業の直接契約への移行に伴う対応 《継続》
- ⑤ 1人現場体制（調査面積2,000㎡以下）の課題の整理と改善 《新規》
- ⑥ 夏場の熱中症対策等、職場環境の整備 《継続》

取組2 財団経営に必要な財源確保と事業展開を進める

既存事業の充実により、県を中心とする外部機関との関係や連携の維持と強化に努め、さらに新規事業の立ち上げにより財源の確保に努める

(1) 多様な主体との連携による積極的な社会貢献を展開する

【中期方針1～3：1A・1D・2B・3】

1) 連携の起点創出事業

- ① 「文化財保存活用地域計画」学習会の企画と実施 《継続》
- ② 地域の文化財の保存活用事業の掘り起こし 《継続》

2) 連携事業の実践

- ③ 県との連携事業 《継続》
- ④ 市町との連携事業
 - ・体験学習等の受託 《継続》
- ⑤ びわこ文化公園3館連携事業 《継続》
- ⑥ 県シルバー人材センター連合会との連携事業
 - ・「遺跡発掘技能講習」の受託 《継続》
 - ・歴史遺産ガイド育成講座の企画、開催 《継続》
- ⑦ 滋賀リビング新聞社との連携事業
 - ・滋賀リビングカルチャー倶楽部への出講 《継続》
 - ・夏休みの体験講座の開催 《継続》
 - ・滋賀リビング新聞への取材協力 《継続》
- ⑧ 平和堂旅行センターとの連携
 - ・歴史遺産ガイド育成講座修了生の企画提案 《継続》
- ⑨ 大学との連携事業
 - ・調査補助員としての受け入れ 《継続》
 - ・大学が実施する教育人材育成での連携
 - 専攻生のインターンシップ受け入れ 《継続》
 - 協会・大学・高校の3者連携事業の実施 《継続》
 - 講義、人材養成事業等への講師派遣 《継続》
 - 調査技術等相互研修の実施 《継続》

(2) 文化財の保存と活用を目的とした外部資金の確保につながる情報の収集と検討

《継続》【中期方針 2 : 2-4】

- ① クラウドファンディング等の寄付制度の検討
- ② 新規の財源確保事業の開拓の検討

取組 3 情報発信による事業効果の社会への還元を進める 【中期方針 3 : 3-1~5】

情報発信を積極的に行うことで、文化財への関心を持つ住民に貢献するとともに、関心がまだ浅い住民にも成果の発信を広げ、事業効果の社会への還元を徹底する

- ① 所属間の連携の推進 《継続》
 - ・ GL 会議、情報発信推進委員会（随時）等の開催
- ② 協会の取組事業の外部発信 《継続》
 - ・ DM等の発送、協会事業の動画配信、紀要の刊行等
 - ・ ノベルティグッズの作成 《新規》
- ③ 県や市町・民間事業者等の多様な主体との連携を活かした情報発信 《継続》
- ④ 発掘調査成果の情報発信の強化 《継続》
 - ・ 「レトロ展」「あの遺跡は今！」等の開催
- ⑤ ホームページを利用した情報発信の強化 《継続》
 - ・ よみものコンテンツの更新
- ⑥ びわこ文化公園の連携を活かした情報発信 《継続》
 - ・ 3館で共通するテーマで講演会を開催
- ⑦ 連続講座の企画、実践 《継続》
 - ・ 市町、平和堂旅行センターでのサテライト開催

取組 4 県の文化施設の運営の充実に努める

【中期方針 1・3】

- ① 滋賀県立安土城考古博物館の管理運営の充実 《継続》
 - ・ 常設展示リニューアルへの対応 《継続》
 - ・ 関連施設との連携と情報発信 《継続》
 - ・ 安土城築城 450 年 (R7・R8) までを見据えた事業運営 《新規》
 - ・ 次期指定管理に向けての準備 《継続》
- ② 滋賀県埋蔵文化財センターの管理運営の充実 《継続》
 - ・ 出土資料の保管管理業務
 - ・ 埋蔵文化財を活用した普及啓発業務と情報発信の強化
 - ・ びわこ文化公園の活性化に向けた連携事業の充実
- ③ 滋賀県立琵琶湖文化館の管理運営の充実 《継続》
 - ・ スムーズな展覧会業務の遂行
 - ・ 地域連携企画展（観峯館、社寺(未定)との連携)
 - ・ 普及啓発業務の活性化

滋賀の文化財講座（全6回）

・琵琶湖文化館としての情報発信の強化

④ 県との「安土城考古博物館」および「埋蔵文化財センター」のあり方検討の協議

《継続》

II 発掘・整理調査事業

予算額 546,634千円

埋蔵文化財の保存と活用を図るため、国・旧公団事業および県事業である各種公共事業等に伴う発掘調査および整理調査を行います。また、市町教育委員会が行う発掘調査・整理調査について協力し、埋蔵文化財の保存と活用を図ります。

(下線は報告書刊行予定)

	事業名	発掘調査(件)	整理調査(件)	計(件)
1	国土交通省関係 ○整理調査：国交省関連事業整理調査 (塩津港遺跡[長浜市]、佐和山城跡[彦根市]、上砥山遺跡[栗東市]、出庭・手原遺跡[栗東市]、惣山・京ヶ山遺跡[大津市])	0	1	1
2	県土木交通部(道路・河川・砂防)関係 ○発掘調査：太田遺跡ほか[野洲市]、御館前遺跡[近江八幡市]、六地藏・林遺跡[栗東市]、長野遺跡ほか[愛荘町]、四十九院遺跡[豊郷町]、阿弥陀寺遺跡[近江八幡市]、シシ垣遺跡[高島市] ○整理調査：大門池南遺跡[多賀町]、里西遺跡[大津市]、朽木陣屋跡[高島市]、蜂屋遺跡[栗東市]、江頭南遺跡[近江八幡市]、福林寺古墳群[野洲市]	7	6	13
4	県農政水産部関係 ○発掘調査：六地藏遺跡[栗東市]、上御殿遺跡[高島市] ○整理調査：高野・六地藏遺跡[栗東市]、妙福寺遺跡[彦根市]	2	2	4
5	市町関連事業等関係 ○発掘調査：横江遺跡[守山市]、笠原南遺跡[守山市] (試掘調査) ○整理調査：横江遺跡[守山市] (2事業)	2	2	4
計	発掘調査面積：57km ²	11	11	22

Ⅲ 企画事業

予算額 3,408千円

1. 基本方針

令和6年度は、市町からの受託により実施してきた地域計画策定支援事業の経験を最大限に活かし、市町や民間事業者、大学等をはじめとする地域の多様な主体との積極的な連携を推進し、必要不可欠なパートナーとして認められていくことを更に実現させていきます。そして、積極的な情報発信事業によって、文化財を通じた豊かな滋賀づくりに貢献するとともに、その意味や価値の可視化を進めます。

(1) 多様な主体との「つながり」促進事業

市町や民間事業者、大学等の多様な地域の主体者とともに開催する学習会や、地域の文化財の保存活用事業の掘り起こし等を通して、連携の起点を創出していきます。

また、市町や民間事業者等が進める文化財保存活用事業への関与や企画提案といった連携を通し、文化財の保護・活用を通じた地域への貢献を積極的に進め、文化財保存活用地域計画の作成支援の経験を活かして、コンサルタント事業の受託や文化財保存活用支援団体への指定を目指し、文化財を扱う組織としての信頼と妥当性を高めていきます。併せて、歴史遺産ガイド育成講座等の企画・開催を通して、地域における連携を支える人材の育成事業を展開します。

さらに、大学との連携では当協会がもつ現場力を広く外部に発信し、学生との協働作業や長期休暇を中心とした発掘調査等のアルバイトの受け入れ、インターンシップの受け入れ等により後進を育成していきます。

(2) 情報発信事業

県の埋蔵文化財行政の一翼を担う調査機関として、情報発信活動の活性化と貢献対象の拡大を進め、文化財の保護・活用の裾野拡大と当協会の社会的価値の向上を実現していきます。

2. 具体的な取り組み

上記1の「多様な主体との「つながり」促進事業」、「情報発信事業」の2つの柱を体系的かつ相互に連動させ、具体的な取り組みを進めていきます。

(1) 多様な主体との「つながり」を促進事業

多様な主体との「つながり」を促進し、連携を通して積極的に地域貢献を進めます。

1) 連携の起点創出事業

市町や民間事業者、大学等の多様な地域の主体者とともに実施する学習会や、地域の文化財の保存活用事業の掘り起こしを通して、文化財を活かした「まちづくり」において地域が抱えている切実な課題の見える化と共有を進め、地域貢献の糸口と、今後の連携の起点を幅広く創出します。

①「文化財保存活用地域計画」学習会の企画・実施 [中期計画2-1-(1)対応]

②地域の文化財の保存活用事業掘り起こし [中期計画 2-3-(1) 対応]

2) 連携事業の実践

市町や民間事業者、大学等の多様な地域の主体者が取り組む事業へ積極的に連携・参画・協働していくことで、地域における文化財の保存・活用を盛り上げ、文化財を通じた「地域づくり・人づくり」に貢献していくことを目指します。

また、経験と実績の積み上げや地域との交流を通して、協会職員の資質向上と、地域住民や市町から見た当協会の社会的価値を向上させます。

③市町との連携事業 [中期計画 2-1-(1)・3-2-(3) 対応]

- i) 連続講座のサテライト開催
- ii) 体験学習の受託

④県シルバー人材センター連合会との連携事業 [中期計画 2-1-(2)・3-2-(3) 対応]

- i) 遺跡発掘技能講習への講師派遣
- ii) 歴史遺産ガイド育成講座の企画・開催

⑤滋賀リビング新聞社との連携事業 [中期計画 2-1-(2)・3-2-(3) 対応]

- i) 滋賀リビングカルチャー倶楽部への出講
- ii) 夏休みの体験講座の開催
- iii) 滋賀リビング新聞への取材協力

⑥平和堂旅行センターとの連携 [中期計画 2-1-(2)・3-2-(3) 対応]

- i) 連続講座のサテライト開催
- ii) 歴史遺産ガイド育成講座修了生の企画提案

⑦大学との連携事業 [中期計画 2-1-(3)・3-2-(3) 対応]

- i) 調査補助員としての受け入れ
 - ii) 大学が実施する教育人材育成での連携
 - ・専攻生のインターンシップ受け入れ
 - ・講義、人材養成事業等への講師派遣
- ・高校との3者連携事業の実施
・調査技術等相互研修の実施

(2) 情報発信事業

情報発信活動の活性化と貢献対象の拡大により、文化財の保護・活用の裾野拡大と当協会の社会的価値を向上させます。

⑧ホームページよみものコンテンツの更新 [中期計画 3-2-(4) 対応]

⑨連続講座の企画実践 [中期計画 1 D-3-(1)・3-2-(2) 対応]

⑩協会の取り組みの外部発信

- i) 情報発信推進委員会の開催 [中期計画 3-1-(1)・(2) 対応]
- ii) ホームページの管理・運営 [中期計画 3-4-(2)・(3) 対応]
- iii) 文化財行事案内 (DM) 等の発送 [中期計画 3-2-(6) 対応]
- iv) 協会事業広報媒体の作成と発信 [中期計画 3-2-(7) 対応]
- v) 協会事業の動画配信 [中期計画 3-2-(8) 対応]
- vi) 紀要の刊行 [中期計画 1 D-3-(4) 対応]

IV 滋賀県立施設管理運營業務

1 滋賀県立安土城考古博物館管理運營業務 予算額 148,046千円

1. 基本方針

近隣施設や県立施設等との連携のもと入館者数の確保を進めるとともに、地元新聞社との協力を得て、地域に親しまれる博物館運営に努めます。

① 魅力ある展覧会の実施

県内外から資料を借用して滋賀の歴史をわかりやすく紹介し、地域に根差した内容で魅力ある展覧会を実施します。

② 講座・催し物等の開催

特別展にあわせた関連講座とともに、独自テーマを設定した連続講座を実施します。

また、令和5年度に引き続き、再開した体験学習を組み込んだ小中学校の来館学習の受入れを進めます。学芸員資格取得のための博物館実習についても引き続き受け入れます。

③ 指定管理運営の中間評価

令和6年度は第4期指定管理期間の後半に入るため、これまでの運営を振り返り、次期指定管理について検討を行います。

④ リニューアル後の博物館

県が実施する展示リニューアルについて、県と連携して事業遂行に努めるとともに、リニューアル後の博物館を見据えた運営を検討し、準備を進めます。なお、5月27日から9月2日は博物館リニューアル工事により全館休館とします。

2. 具体的な取り組み

(1) 展覧会事業

[中期計画3—2(1)対応]

春季特別展「稀品・逸品—滋賀県出土の指定文化財を中心に—」

展覧会期：令和6年4月27日（土）～5月26日（日）

趣 旨：県内遺跡から出土した考古資料の中から、重要文化財、県や市の指定文化財を中心に、滋賀県のみならず日本の歴史を考えるうえでも貴重な旧石器時代から近世の稀品・逸品を紹介します。

展示資料：重要文化財の大岩山銅鐸、新開古墳出土品、雪野山古墳出土品
県指定文化財の相谷熊原遺跡出土品、大中の湖南遺跡出土品等

共 催：京都新聞

関連行事：春季特別展関連講座

5月11日（土）「大岩山銅鐸と近江の弥生社会」

伊庭功氏（前当館学芸課長）

5月18日（土）「新開古墳にみる古墳時代の変化」

細川修平氏（滋賀県文化スポーツ部）

考古常設展

会期：令和6年9月3日（火）～令和7年3月30日（日）

会場：企画展示室

内容：考古資料を展示する第1常設展示室がリニューアル工事により閉鎖するため、その代替として同展示室の考古資料を展示します。なお、第2常設展示室は従来の展示を行います。

夏季企画展、秋季特別展、冬季企画展 リニューアル工事のため開催しない。

特別陳列（4回、望楼下で開催予定）

I 近江の遺跡発掘成果①「古代国家と鉄」

会期：令和6年9月26日（木）～10月31日（木）

内容：近江国の古代の鉄器生産に関連する資料を展示紹介します。

II 近江の遺跡発掘成果②「古代のお金」

会期：令和6年11月1日（金）～令和6年12月3日（火）

内容：県内出土の無文銀銭や皇朝十二銭を展示紹介します。

III 近江の遺跡発掘成果③「中世のお金」

会期：令和6年12月4日（水）～令和7年2月4日（火）

内容：中国や朝鮮から輸入された、県内出土の渡来銭を展示紹介します。

IV 「信長とその息子たち」

会期：令和7年2月5日（水）～3月18日（火）

内容：館蔵資料のなかから、信長の息子たちに関する資料を展示紹介します。

でかける博物館 in 安土城考古博物館

会期：令和7年1月25日（土）～2月24日（月・祝）予定

会場：望楼下

内容：大阪府立近つ飛鳥博物館との連携企画（詳細未定）

*当館は、近つ飛鳥博物館において「でかける博物館 in 近つ飛鳥博物館」

(会期：令和7年1月18日(土)～2月16日(日))を実施する予定です。

発掘調査速報展

会期：随時

会場：エントランスホール

内容：当協会が実施した発掘調査の成果を、出土品と解説パネルで紹介します。

(2) 講座事業

[中期計画3-2(2)対応]

連続講座シリーズⅠ「古代国家と近江の鉄」全4回

発掘調査に携わる専門職員が、最新の調査・研究成果をもとに古代国家を支えた近江の鉄生産について解説します。

第1回 9月28日(土)「古代国家と近江の鉄」(仮)

当館：大道和人

第2回 10月5日(土)「前方後円墳体制と近江の鉄」(仮)

栗東市スポーツ協会文化財調査課：近藤広氏

第3回 10月12日(土)「継体大王・藤原氏と近江の鉄」(仮)

高島市教育委員会文化財課：宮崎雅充氏

第4回 10月19日(土)「藤原仲麻呂政権と近江の鉄」(仮)

大津市市民部文化財保護課：山崎公輔氏

連続講座シリーズⅡ「お金で綴る近江の歴史」(全4回)

発掘調査に携わる専門職員が、最新の調査・研究成果をもとに日本の古代から中世のお金の歴史や文化を紹介します。

第1回 11月2日(土)「無文銀銭とは何か」(仮) 当協会：内田保之

第2回 11月10日(日)「近江の古代銭」(仮) 当協会：辻川哲朗

第3回 11月24日(日)「銭貨と祭祀」(仮) 当協会：森田真由香

第4回 12月8日(日)「近江の渡来銭」(仮) 当協会：小島孝修

協会本部が実施する連続講座のサテライト会場

当館セミナールームを協会本部とオンラインで結ぶサテライト会場として、受講希望者のニーズに応えます。

史跡探訪・城郭探訪

近江風土記の丘の史跡を活用して、特別史跡安土城跡や、史跡観音寺城跡と桑實寺を案内・解説します。

城郭探訪①「安土城跡」 5月12日(日)

城郭探訪②「観音寺城跡と桑實寺」 5月19日(日)

城郭探訪③「安土城跡」 5月25日(土)

城郭探訪④「安土城跡」 10月 6日(日)

城郭探訪⑤「観音寺城跡と桑實寺」 10月20日(日)

(3) その他の催し物

[中期計画3-2(3)対応]

体験博物館

- ・「あの遺跡は今」 未定
 - ・家族で楽しむ!秋の体験博物館「勾玉作り体験」 10月13日(日)
10月14日(月・祝)
- *5月に実施していた親子写生大会は、展示期間がリニューアル工事と重なるため中止。

(4) その他の事業

刊行事業

[中期計画3-2(5)対応]

- ・学芸員の調査研究成果をまとめた「紀要」の刊行
- ・「年報」の刊行
- ・博物館だより「おおてみち」の刊行(年4回)
- ・「催し物案内」の刊行
- ・リニューアル後に対応する各種案内リーフレットの改訂

広報・情報発信

[中期計画3-2(7)対応]

- ・京都新聞との共催により春季特別展を開催
春季特別展を引き続き京都新聞と共催し、新聞紙面等での広報を展開。
- ・SNSによる情報発信
フェイスブックやインスタグラムによる硬軟織り交ぜた情報の発信により、フォロワーの増加を目指します。
- ・美の魅力発信5館連携ネットワーク
県立5館が連携して情報発信事業を企画、実施。
- ・滋賀、岐阜、福井の三県が連携した企画を検討、実施

2 滋賀県立琵琶湖文化館管理運営事業

予算額 21,799千円

1. 基本方針

平成20年度から休館している琵琶湖文化館について、当協会は、施設の維持管理や収蔵資料を活用した企画展の開催支援、ウェブサイトの更新等管理事務の分野における業務を受託し、収蔵品の管理・活用や寄託者対応等の学芸業務を担う県職員と協力して、館の運営に努めます。

なお、琵琶湖文化館の後継施設について、県では浜大津に（仮称）新・琵琶湖文化館を整備し、令和9年（2027年）度の開館を目指し準備を進められているところですが、開館までには未だ時間を要するため、館の活動内容や収蔵資料について積極的に情報を発信し、文化財講座等への参加を呼びかける等、県民サービスの充実を図り、新・文化館建設への機運醸成を図ります。

- (1) 施設管理
- (2) 展覧会事業
- (3) 普及啓発事業
- (4) 情報発信事業

2. 具体的な取り組み

(1) 施設管理

① 目的

日常の施設維持管理を行うとともに、施設の小修繕や保守・点検等の維持管理を行います。夜間等職員不在時は機械警備を実施し、火災・地震等の緊急時に即応するため、県の職員も含めた緊急連絡体制を敷く等、防犯・防災体制に万全を期します。また、県（学芸員）の指示の元で文化財の適切な収蔵保管環境を維持するために協力します。

② 内容

- ・施設設備の小修繕
- ・各種法定点検（消防設備、高圧受電設備、建築基準法に基づく設備点検等）
- ・収蔵品小修理および収蔵庫内の環境管理に係る支出および契約等事務手続き

(2) 展覧会事業

[中期計画3-2-(1)対応]

① 目的

休館中の琵琶湖文化館の収蔵品を他館で展示公開します。長年にわたり館が収集・保管してきた収蔵品に親しみ、滋賀の文化の豊かさを再認識し、文化財保護の取り組みについても理解いただく機会として、地域連携企画展を開催します。令和6年度は、観峰館や県内社寺等と連携・協力し、地域にゆかりのある作品を展示公開します

5月～7月（予定） 滋賀県立公文書館・大津市

9月21日（土）～11月24日（日） 観峰館・東近江市

「近江の書―東近江地域を中心に―（仮題）」

ほか社寺等との連携（予定）

② 内容

- ・チラシ、ポスターやパネル作成、広報等の開催支援
- ・美術品移動に係る支出および契約等事務手続き

(3) 普及啓発事業

[中期計画3-2-(2)対応]

① 目的

県と協働のもと、滋賀の文化財にまつわる最新情報を県民に向けて積極的に発信します。

② 内容

滋賀の文化財講座「花湖さんの打出のコヅチ」全6回を開催し、多彩なジャンルで滋賀の文化財をめぐる話題を提供することで、文化財を身近に感じていただくとともに、その魅力を広く県民に向けて発信します。メイン会場のほか、オンライン配信によるサテライト会場（5カ所程度）の設置を視野に、県機関と協力の上、実施します。

第1回 5月22日（水）テーマ、講師は未定

第2回 6月19日（水） 同上

第3回 7月17日（水） 同上

第4回 8月20日（火） 同上

第5回 9月18日（水） 同上

第6回 10月23日（水） 同上

- ・チラシ作成
- ・申込み受付、会場手配、会場準備等

(4) 情報発信事業

[中期計画3-2-(4)・3-4-(3)対応]

① 目的

ウェブサイトの運営においては、休館中の琵琶湖文化館の活動や収蔵品に関する話題を、親しみやすい内容で発信するとともに、新・琵琶湖文化館建設準備に向けた県の取り組み等を紹介する重要なツールとして位置づけ、積極的な情報発信に努めます。併せて、適宜屋外掲示板に情報を公開し機運醸成を図ります。また、新聞やテレビなどの媒体を活用した広報に努め、県内の文化財保護の基盤の充実と向上に努めます。

② 内容

- ・ウェブサイトの充実
- ・収蔵品紹介・あきつブログ・講座イベント等

県文化財保護課実施事業の紹介等

- 研究紀要の発行
- 協会文化財通信への原稿提供
- 滋賀県埋蔵文化財センターおよび滋賀県立図書館等への印刷物の設置
- 報道機関への資料提供等

3. 滋賀県埋蔵文化財センター管理運営事業 予算額 23,782千円

1. 基本方針

滋賀県埋蔵文化財センターは、滋賀県の埋蔵文化財保護行政の中核を担う施設として、埋蔵文化財の保存および活用、調査および研究、出土遺物および記録資料の収集整理と収蔵保管、知識の普及および啓発等の業務を担っています。当協会は、県からその施設管理および運営を受託し、積極的に取り組みます。

2. 具体的な取り組み

(1) 施設の維持管理事業

- ①庁舎の修繕や保守・点検等の維持管理を行います。
- ②県内3か所に所在する収蔵庫の維持管理を行います。

(2) 出土資料の保管管理事業

- ①収蔵資料の保管管理を行うとともに、未整理分の出土資料の点検、データ整理（コンテナ100箱程度）を行います。
- ②出土資料等の貸出し、特別利用に関する業務を行います。
- ③当該年度発掘調査出土品および記録類を受入、収納し、データ作成を行います。
- ④発掘調査報告書等の書籍の受入、保管、貸出、閲覧業務を行います。

(3) 普及啓発事業

[中期計画3-4-3-5対応]

①ロビー展示の開催

玄関ロビーにおいて、県内の埋蔵文化財を紹介する展示を行い、年1回の展示替えを行います。テーマ展「おうみの壺にはまる一壺・壺・つぼ・ツボ」や県民から展示の要望が多い相谷熊原遺跡出土土偶の定期的公開を行います。

令和6年4月1日（月）～令和6年7月5日（金）予定

令和5年度から継続

②JR湖西線大津京駅構内展示

大津京駅構内文化財展示場において、年3回、史跡に指定された遺跡を取り上げ、出土遺物や写真パネルでの展示・紹介を行います。

植遺跡・・・令和6年4月1日（月）～令和6年5月31日（金）

令和5年度から継続

朽木陣屋跡・令和6年6月1日（土）～令和6年9月30日（月）

禾津頓宮跡・令和6年10月1日（火）～令和7年1月31日（金）

穴太廃寺跡・令和7年2月1日（土）～令和7年5月30日（金）

③職場体験学習等の受入

小・中学校の体験学習や中学生の職場体験に協力し、一般団体の見学等の受入を行います。

④出前授業の実施

小・中・高校の歴史授業について、各学校や遺跡・史跡（史跡近江国庁跡等）へ出向いて歴史授業に協力します。また、埋蔵文化財センターが保管する出土資料を活用し、「出土品に直に触れられること」など、授業を通じて文化財に親しむ機会を提供します。

⑤体験学習の実施

夏休み期間に小学生を対象に古代の体験学習を実施し、文化ゾーンフェスティバルを実施する文化の日には、一般も含めた「鍛冶体験」の体験学習を行います。これらの体験学習はびわこ文化公園内のワークショップシリーズとして、滋賀県立美術館や各施設と連携して「アートにどぼん!」のプログラムとして実施します。また、要望に応じ社会教育の場でも実施します。

勾玉作り体験 令和6年8月4日（日） 鑄造体験 令和6年8月7日（水）

染め物体験 令和6年8月10日（土） 鍛冶体験 令和6年11月3日（日・祝）

⑥「文化ゾーン探検隊」や「文化ゾーンフェスティバル」の実施

文化ゾーン内に所在する文化施設に親しみ理解の醸成を図る目的で、県民に各施設を特別公開します（年2回）。また、「2024 みどりのつどい」や「人権ミニフェスタ」、「ハッピーハロウィンデー」に協力し、施設の特別公開を行います（年2回）。

⑦「埋もれた文化財の話」の編集

ロビー展示に関連したテーマを取り上げた解説パンフレットを作成します。

⑧ホームページをとおして、展示や埋蔵文化財等の情報を発信します。

（4）びわこ文化公園都市の活性化に向けた事業

[中期計画 3-5 対応]

埋蔵文化財センターの立地するびわこ文化公園都市の活性化のため、美術館・図書館・公園事務所等との機能連携に努めます。

V 文化財保護基金および文化財活用基金

予算額 82,401 千円

(1) 文化財保護資金貸付事業

[中期計画 2-1 (1) 対応]

指定文化財および登録文化財の保護・保存のため、文化財所有者が行う文化財の修理、防災施設および環境整備事業等に要する費用負担の軽減を図り、文化財の適正な維持管理が行えるよう必要な資金の貸付を行います。

貸付予定額	57,111,000円
貸付募集回数	年間2回
貸付時期	7月、12月
貸付限度額	1件 1,000万円以内
貸付利率	無利子
償還期間	7年以内（据置期間を含む）

(2) 文化財活用資金貸付事業

[中期計画 2-1 (1) 対応]

指定文化財および登録文化財の活用のため、文化財所有者等が行う文化財の活用に関する事業（施設整備に係るものを除く。）に必要な費用の一時的な負担に対して、必要な資金（補助金等が交付されるまでの繋ぎ資金的性格）の貸付を行います。

貸付予定額	14,634,000円
貸付募集回数	年間2回
貸付時期	7月、12月
貸付限度額	1件 300万円以内
貸付利率	無利子
償還期間	事業完了後2ヶ月以内もしくは 国等の補助金の入金後1ヶ月以内